

放射性物質に関する所内全域調査(その1)

～本館床下から発見された放射性物質入りのビン21本に対する措置と、今後の所内全域調査計画について～

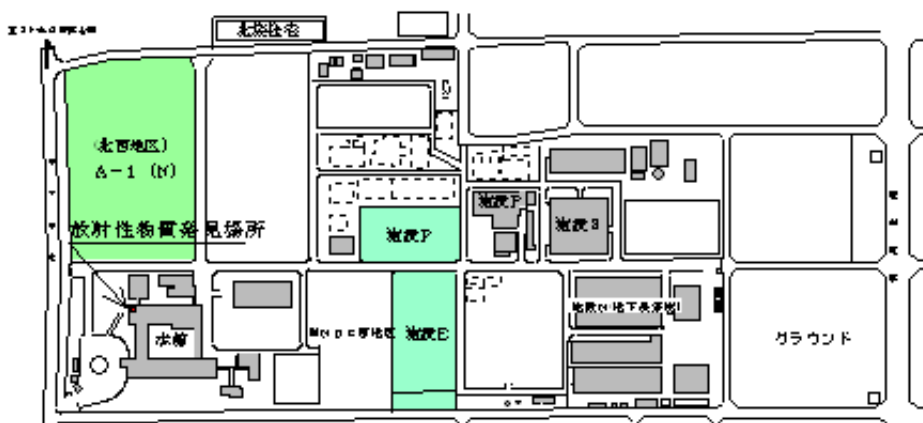
1. はじめに

当研究所の旧核燃料試験研究施設整備につきましては、現在、来年（平成17年）3月末の整備完了に向け、仮保管庫（施設F、施設S）に保管中の放射性廃棄物を、新保管庫へ移動を実施中ですが、これと並行的に過去の聞き取り調査を実施、これをもとに本館床下を調査致しましたところ、去る7月15日、放射性物質の入ったビン、21本が発見されました。

このため、緊急措置として、放射性廃棄物仮保管庫として使用中の「施設S」への移動を行うとともに、去る8月16～17日、文部科学省に第一報の報告を行い、同日、同省の現地調査と、当方に対する3項目の指導がありました（後記4ご参照）。

近隣にお住まいの皆様に対しましては、大変ご心配ご迷惑をおかけし、誠に申し訳なく存じますが、その後、去る10月12日、前記3項目についての措置報告を同省に行い、同省の現地調査実施後、同省のホームページに確認内容が掲載されました。つきましては、これまでの経過と今後の調査計画をパンフレットにまとめましたので、ご高覧下さい。

2. 関係図



3. 主たる経過

- 7月15日 本館床下より放射性物質の入ったガラスビン21本発見。
- 8月16日～17日 文部科学省へ報告。
- 8月18日 文部科学省の現地調査。同省より「安全管理の徹底についての嚴重注意」と、3項目の指導。
- 8月19日 新聞報道
- 9月25日 当所における説明会
（ガラスビン21本の中間報告と、今後、北西地区（A-1（N）地区。上図ご参照）他、所内全域調査を実施していく旨報告）。
- 10月12日 3項目に対する措置状況を文部科学省へ報告。同省による現地調査後、同省がホームページへ掲載。

4. 3項目の措置報告と、それに対する文部科学省の確認内容

(1) 発見された放射性物質の種類及び数量の特定

- ガラスビン21本のうち、12本は天然ウラン（約1.2kg）。9本は、トリウム（約6.1kg）。これらは、ドラム缶に収納され、放射性廃棄物の保管廃棄施設として許可を得ている所内の施設に管理されている。

(2) 放射性物質が発見された場所の汚染除去

- 放射性物質が発見された場所は、検出限界以下（0.18ベクレル/cm²）未満に除染されている。
- 今回、除染・回収された汚染物を保管中の保管廃棄施設の周辺監視区域における線量は0.05マイクロシーベルト/時であり、安全上、問題のないレベルである。

5. 今後の計画

(1) ボーリング調査を実施する所内北西地区の現状



(北側)



(南側)

(2) 調査の概要

これまで、汚染は旧核燃料試験研究施設のエリアに限定されていると判断しておりましたが、戦前からの歴史的な変遷や伝聞情報に留意して、次の調査を実施致します（スケジュールについては、裏面のQ&Aをご参照下さい）。

1. 所内全域を対象として、地表面および地上1mにおける空間線量率の測定を実施致します（実施中）。
2. 所内全域の環境調査（重金属）のために、既に採取したボーリング試料について、放射線測定を実施致します（実施中）。
3. 所内北西地区を重点調査エリアとして、10mメッシュを基本に北西地区のボーリング調査を実施し、地中の状態を調査します（準備整い次第、近々実施）。
4. 上記1、2の全域調査結果を踏まえ、必要に応じてボーリング調査を実施（上記3の所内北西地区に引き続いて実施）。

■ Q & A

Q 1 :

所内全域調査のスケジュールは、どうなりますか？

A 1 :

下の図のとおり、来年3月までボーリング調査を実施します。

発見された放射性物質の措置及び所内全域調査計画

年 月		平成16年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成17年 1月	2月	3月
放射性物質の検出と調査										
水質系下調査		●→								
発見された放射性物質等の措置	水質系下汚染源調査		●→							
	放射線計測・輸送		●→							
	放射線計測		●→							
	放射性物質調査及び報告書作成		●→	●→						
所内全域調査	所内全域放射線調査			●→	●→					
	既得コア放射線調査				●→	●→				
	ボーリング調査準備				●→	●→				
	ボーリング調査(A-1(4巻))						●→	●→	●→	●→
	コア放射線調査						●→	●→	●→	●→
	放射線計測					●→	●→			
	放射線計測					●→	●→			

Q 2 :

来年3月以降(北西地区ボーリング終了後)の計画はどうなりますか？

A 2 :

ボーリングと並行的に、ボーリングコアの放射線測定を行います。コアがバックグラウンドレベルを超えた場合には、分析試料を採取し、核種分析を行います。こうして、北西地区の全体状況を把握した上で、その後の計画を立案、対応して行くこととします。